

■開設年度		■開講部局	
2011		共通教育	
■科目名			
稲盛セミナーI			
■英語科目名			
Inamori Seminar I			
■前後期		■開講区分	
前期		毎週	
■科目形態		講義	
■単位数		■大分類（科目）	
2		教養科目	
■中分類（分野）		人間教育科目	
■受講学部学科			
全			
■担当教員		■担当教員所属	
奥 健一郎		稲盛アカデミー	
■連絡先（TEL）		■連絡先（MAIL）	
099-285-8329		koku@eng.kagoshima-u.ac.jp	
■オフィスアワー（授業時間外の対応）			
講義中終了後。もしくは時間調整の上で実施。			
■共同担当教員			
吉田 健一 萩原 豪			
■キーワード1		■キーワード2	
社会的貢献意識		視野・判断力・探求能力	
■授業概要（目的・内容・方法）			
本講義では本学のOBであり、京セラ名誉会長・KDDI最高顧問稲盛和夫氏の実業家としての実績、物の考え方（フィロソフィー）及びその経営手法を多角的に学ぶ事を目的とする。今日、日本を代表する実業家である稲盛氏は、その独特の経営思想においても、人間洞察においても様々な先人からの影響を受け、一つの体系を完成させ、広く実践されている。 本講義では、まず、第1期で、稲盛氏がその思想形成、または経営上の哲学を構築するにあたって影響を受けた人物を取り上げる。但し、稲盛氏に影響を与えた人物そのものに深く言及するのではなく、その人物と稲盛氏との関係に焦点を当てて取り上げる。 第2期では、稲盛氏の経営手法として確立された「アメーバ経営」と「京セラ会計学」を取り上げ、経営者としての稲盛氏に焦点を当てた後、一経営者の枠を超えて、日本のオピニオンリーダーとして活躍される稲盛氏の人間観・労働観・世界観・宗教観などに学ぶ。			
■学習目標			
わが国は戦後目覚ましい成長を遂げ、世界経済の重要な役割を担うまでになった。 しかしながら一方で、急速な経済発展の生んだ歪みによる道德の欠如は昨今特に社会生活を混乱させ、その影響は様々な痛ましい社会事件や、企業の破綻にまで広がっている。 この現状が現代の教育にも打撃を与え、結果として国民の精神そのものが低迷し、出口の見えない状況が続いているといっても過言ではない。 以上の観点から、このセミナーは、稲盛和夫氏の人生哲学は勿論の事、その経営手法も学び取り、真に豊かな人生を送る意義を学ぶことを目的とする。			
■授業計画（15回に分け、回数、授業内容、自学自習等）			
（第1期） 稲盛氏に影響を与えた人物そのものに深く言及するのではなく、その人物と稲盛氏との関係に焦点を当てて取り上げる。 1. 西郷隆盛（奥） 2. 西郷隆盛（奥） 3. 中村天風（医者・哲学者）（奥） 4. 中村天風（医者・哲学者）（奥） 5. 谷口雅春（宗教家）（奥） 6. 谷口雅春（宗教家）（奥） 7. 安岡正篤（昭和の陽明学者）（吉田） 8. 安岡正篤（昭和の陽明学者）（吉田）			

9. 松下幸之助（昭和の実業家）（吉田） 10. 松下幸之助（昭和の実業家）（吉田）（第2期） 11. アメーバ経営論と会計学（奥） 12. 稲盛和夫と社会貢献活動（萩原） 13. 稲盛和夫の環境思想（1）（萩原） 14. 稲盛和夫の環境思想（2）（萩原） 15. まとめ（奥）	
■受講要件	■成績の評価基準
特になし。	毎回のフィードバックシート及びレポートで総合的に評価。フィードバックシート60%、レポート40%の配分で評価する。
■教科書	■参考書
特に指定しない。参考文献を随時紹介する。	『敬天愛人―私の経営を支えたもの―』 稲盛和夫・2006年・PHP文庫 『生き方―人間として一番大切な事―』 稲盛和夫・2004年・サンマーク出版 『稲盛和夫の哲学―人は何のために生きるのか―』 稲盛和夫・2001年・PHP研究所 『二十一世紀の子供たちへ―君の思いは必ず実現する―』 稲盛和夫・2004年・財界研究所 『アメーバ経営―ひとりひとりの社員が主役―』 稲盛和夫・2006年・日本経済新聞社 『稲盛和夫の実学―経営と会計―』 稲盛和夫・日本経済新聞社・2000年 『人生の王道―西郷南洲の教えに学ぶ―』 稲盛和夫・日経BP社・2007年 『働き方』 三笠書房・稲盛和夫・2009年 『人生と陽明学』 安岡正篤・PHP文庫・2002年 『私の行き方―考え方―わが半生の記録―』 松下幸之助・PHP文庫・1986年 『実践経営哲学』 松下幸之助・PHP文庫・2001年 『西郷南洲翁遺訓』 財団法人西郷南洲顕彰会・平成13年 『成功の実現』 中村天風・1988年・日本経営合理化協会出版局 『研心抄』 中村天風・財団法人天風会・昭和23年 他多数
■その他	